

支援活動の内容を領域別に表示

支援の領域	目標	活動内容※活動概要参照
言語 コミュニケーション	<p>個々に合わせた課題を負担なき範囲で提供し文字や言葉に触れ対話に楽しさを覚えるコミュニケーションをとる。</p> <p>合わせて個々の特性に応じサインや筆談を通し言葉に特化しない手法を用い自己表現力と対人折衝への意欲を培う。</p>	<p>活動概要①</p> <p>活動概要②</p> <p>活動概要⑤の支援活動</p>
人間関係 社会性	<p>多岐の社会資源を活用し公共のルールを受容し生活範囲が広がるような支援を行う。</p> <p>児の目線に立ち様々な物事の折り合いを共に考えお互いの気持ちを理解できるよう導きつつ友好関係の構築に助力する。</p>	<p>活動概要④</p> <p>活動概要⑤</p> <p>活動概要⑥の支援活動</p>

支援活動の内容を領域別に表示

【総合的指針】

衛生面に配慮した活動の場を提供し、児自身が基本的な感染等の防止を認知し健康的な日常をおくれる様な支援を行う。
 社会資源を活用し様々な体験を通し児童の身体的成長を見守り、自立に向け社会性と生活力の向上を目的に寄り添う支援を行う。
 児童個々の持つ強みを引き出し自己の向上を実感しながら日々の生活を楽しめるよう支援する。

支援の領域	目標	活動内容※活動概要参照
健康・生活	活動を通し日常動作の認知と習慣性を培う。 衛生への習慣性を喚起し疾病、感染の予防行動を促す。 自力のできる喜びを増やし生活意欲を高める。 持ち物等の自己管理、支度、片付けを身に付け自発的な日常生活への意欲を高める。	活動概要①の支援活動
運動・感覚	身体の発達に合わせ負担なき運動活動を通し自己の動作の向上と集団行動の機会を支援し協調性を培う。 様々な道具の用途を体験を通し習得し感覚を養っていく。	活動概要① 活動概要③の支援活動
認知・行動	成長と行動範囲の広がりの中で危険の認知と対処を習得する。 遊びを通し決まりや順番に触れ適切な行動と認識を理解しつつ生じる葛藤と向かい合い気持ちの切り替えを促す。 災害時の行動を体験を通して認知し緊急時の指示を受容する。	活動概要④ 活動概要⑤ 活動概要⑥の支援活動

活動内容	支援目的	活動内容	具体的な取り組み	実施時期
<p>⑤ 余暇 自由時間</p>	<p>様々な玩具に触れ遊び方の工夫や未体験の事への関心、視野を広げる環境を提供する。また、共有物を通し物を大切に扱う意識を喚起し貸し借りや順番を受容していく。 遊びのルールや他者との折衝に生じる葛藤と向かい合い折り合いや譲り合いの気持ちを援助しつつ育んでいく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児たちの持つ関心対象を把握し楽しめる環境を構築する ・リラックスと自由な発想を重視しつつも適切な扱い方や共有物としての意識を培っていく ・ゲーム類を活用しルールの意義に触れていく ・与えられた物や課題ではなく、与えられた時間に「何をしようかなあ」と自身が選択して過ごせる機会を確保する ・片付け習慣と気持ちの切り替えの円滑化 ・保護者との関心ごとの共有 ・知育領域を考慮しバランス良い遊びの機会の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・児たちとの対話から関心対象を把握して順次玩具の幅を広げて楽しい遊びの場を提供する ・「出す～使う～片づける」を一連のプロセスとし楽しみながら物の大切さを身につける支援の実施 ・ルールや決まり事を集団で共有できる遊びの提供 (ボードゲーム、トランプ、ウノ、かるた) ・希望を尊重し自発的に何をするか選択する過ごし方の確保 ・声掛け、促しでの気持ちの切り替えトレーニング ・連絡帳を活用し個々の家庭と関心ごとを共有して過ごす ・知育的領域を意識しバランスのある遊びの提供 <p>【領域】</p> <p>言語：実生活-ごっこ遊び、絵本、言葉遊び、ままごと 創造性：一人遊び(気づき・判断)パズル、プラレールミニカー等玩具遊び 同調・ルール：ゲーム、かくれんぼ、数遊び、集団遊び</p>	<p>日常的 且つ 個々の 特性に 応じて</p>
<p>⑥ 春夏冬 休み</p>	<p>春・夏・冬の各休暇期間を活用し屋外活動の機会を提供していく。 合わせて地域交流の一環としての支援を実施。</p>	<p>期間中児たちの希望も反映しつつ外出企画中心に活動を展開する。 また期間中の児たちの取り組みや作品を展示を通し保護者も見られるような対応を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・遠足(車両に分乗しての遠方企画・ピクニック) ・屋外での体験型イベントへの参加 ・地域イベントへの参加 ・個別に保護者あてSNSを利用した活動の配信 	<p>定期的 企画</p>

放課後等デイサービスまつどっ子 活動概要

活動内容	支援目的	活動内容	具体的な取り組み	実施時期
<p>① 自立支援 日常生活 に活かせる 支援</p>	<p>個々の発達、特性に応じて基本的な日常動作及び自立への支援。 個々の関心の目をくみ取りつつ体験を通し小さなスキルを積んでいく。 学校での指導を把握し連動できる支援を行う。 自発性を喚起し物事に対する意欲を育む支援をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な日常の動作 ・コミュニケーション訓練 ・自立を見据えた活動 ・本人の気持ちに寄り添う支援 ・公共を意識したふるまい方の認知 ・気持ちの切り替え ・保護者との進捗の共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄、手洗い、うがい、着替え等の日常動作の認知と経験 ・集団活動の周囲との同調意識の喚起 (昼食時、おやつ時、帰りの会等の予定に合わせた行動) ・屋外活動を通し社会にそった行動をとれるようなプログラム ・社会資源を活用した体験を通し社会性を育む機会の提供 (公園活動、交通機関の利用体験、買い物、電話応答) ・個々の特性にそった意思伝達(カード、絵の活用) ・気持ちの切り替え、整理の対処(別室の活用) ・定期的及び必要時の保護者との面談(年2回及び必要時) 	<p>日常的 且つ 個々の 特性に 応じて</p>
<p>② 学習支援</p>	<p>学習は本人の負担にならない配慮の上学校での課題の持ち込みを含め意欲的に取り組めるように支援する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の完結体験 ・学習時間の共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題(宿題)に向き合い完結する習慣性を身につける時間確保 ・個々にあったプリントの選別 ・完結への称賛 	<p>個々に 応じて</p>
<p>③ 創作活動</p>	<p>工作活動を通し集中や完成までの持続経験を積み頑張る楽しさに触れる。 自力でやる満足感を味わい意欲的な気持ちを育む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の障がいと持ちえた技能に合わせた完結体験 ・道具の用途の認知と使い方の訓練 ・道具の危険性の理解 ・時期に合わせた題材を提供しつつ季節や時節行事を感じながらの作業 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の負担や能力に配慮し助力しつつの作品制作 ・児たちの関心にそった教材提供 (ペーパークラフト・切り絵・塗り絵) ・安全を確保した上での道具の使い方の習得 (ペン、定規、ハサミ、セロテープ) ・時節行事を感じる装飾活動 	<p>希望時 時期 季節 考慮</p>
<p>④ 社会資源 活用と 地域交流</p>	<p>障がいがあることで行動範囲や社会参加が限られないように児たちの社会参加の場を提供しつつ公共での楽しみを体験し自立への意欲を育む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の活用 ・交通機関の活用 ・地域活動の体験 ・マナーと道徳的行動の認知 ・屋外での楽しみを実感し行動範囲を広げ社会への意識を培う ・困ったときSOSが発信できるような訓練 ・災害時の対処に触れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物体験(レジの流れと金銭概念の得とく) ・交通機関の乗車体験 (改札の仕組み、乗車券の使い方、乗降マナー、車内マナー) ・公共施設見学(博物館見学、体験型施設) ・地域イベントへの参加(季節行事等) ・交番、駅係員等の認知及び駅ホームでの危険の認知 ・社会資源を活用した防災体験(防災体験施設の活用) 	<p>定期的 企画</p>

